

東アジアにおける裁判外紛争解決 方法の多様化と調停の役割

-韓国、台湾、香港、マカオ、日本および中国を中心に-

Role of Mediation in Diversification of Alternative Dispute Resolution in East Asia
- Focusing on Korea, Taiwan, Hong Kong, Macau, Japan and China -

日時 12月14日 (木)
12:50~16:00

場所 熊本大学
文法学部棟 1階
A3講義室

講演者 (プログラム講演順)

川嶋 隆憲 Takanori KAWASHIMA
(熊本大学 法学部 准教授)

尹 龍澤 YongTaek YOON
(創価大学 法科大学院 教授)

林 玠鋒 ChiehFeng LIN
(輔仁大学 法律学院 助教授)

顧 敏康 MinKang GU
(香港城市大学 法律学院 教授)

駱 偉健 WaiKin LOK
(マカオ大学 法学院 教授)

コーディネーター

葉 陵陵 Lingling YE
(熊本大学 大学院社会文化科学研究科 教授)

プログラム

通訳付き

- 12:50~ 開会挨拶 高橋 隆雄 (熊本大学 人文社会科学系国際共同研究拠点長)
Opening remarks : Takao TAKAHASHI
(Director of International Collaborative Research Group for Social and Cultural Sciences)
- 12:55~ 趣旨説明 葉 陵陵 (熊本大学 大学院社会文化科学研究科 教授)
Purpose & Lecturer Introduction: Lingling YE
(Professor of Law at Graduate School of Social and Cultural Sciences)
- 13:00~ 講演 「日本における調停制度の現状と展望」
川嶋 隆憲 (熊本大学 法学部 准教授)
“Current Situation and Future Perspective of Mediation System in Japan”
Takanori KAWASHIMA (Associate Professor of Law at Faculty of Law, Kumamoto University)
- 13:15~ 講演 「韓国における言論仲裁委員会の現状」
尹 龍澤 (創価大学 法科大学院 教授)
“Current situation of Press Arbitration System in Korea”
YongTaek YOON (Professor of Law at School of Law, Soka University)
- 13:30~ 講演 「台湾における家事調停の現状及び課題」
林 玠鋒 (輔仁大学 法律学院 助教授)
“The Present state and Future issues of Domestic Relations Mediation in Taiwan”
ChiehFeng LIN (Assistant Professor of Law at School of Law, Fugen University)
- 14:05~ 講演 「中国における『大調停』メカニズムの構築」
葉 陵陵 (熊本大学 大学院社会文化科学研究科 教授)
“Building of the Diversified Mediation Mechanism in China”
Lingling YE (Professor of Law at Graduate School of Social and Cultural Sciences)
- <休憩10分>
- 14:30~ 講演 「『一国二制度』下の香港調停制度」
顧 敏康 (香港城市大学 法律学院 教授)
“Hong Kong’s Mediation System under One Country Two Systems”
MinKang GU (Professor of Law at School of Law, City University of Hong Kong)
- 15:05~ 講演 「マカオにおける調停制度の改革及び課題」
駱 偉健 (マカオ大学 法学院 教授)
“The Reform and Future Issues of Mediation System in Macau”
WaiKin LOK (Professor of Law at School of Law, University of Macau)
- 15:40~ 討論・質疑 Discussion & Questions
- 15:55~ 閉会挨拶 深町 公信 (熊本大学 法学部長)
Closing remarks: Kiminobu FUKAMACHI (Dean of Faculty of Law, Kumamoto University)

お問合せ

人文社会科学系国際共同研究拠点担当
096(342)2480 k-Senryaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

東アジアにおける裁判外紛争解決方法の多様化と調停の役割

-韓国、台湾、香港、マカオ、日本および中国を中心に-

Role of Mediation in Diversification of Alternative Dispute Resolution in East Asia

- Focusing on Korea, Taiwan, Hong Kong, Macau, Japan and China -

ゲスト紹介

尹 龍澤 YongTaek YOON
(創価大学 法科大学院 教授)



創価大学法学部卒業。同大学院法学研究科修了。博士（法学）号を取得。弁護士、韓国・国立全北大学招聘教授。専門分野は行政法。研究テーマは東アジアにおける行政上の紛争解決制度の比較研究など。著書に「東アジアの行政不服審査制度—韓国、中国、台湾そして日本」「現代の韓国法—その理論と動態—」「一般行政法」など。

顧 敏康 MinKang GU
(香港城市大学 法律学院 教授)



華東政法大学法学部卒業。同大学院修士課程修了。アメリカのウィラメット大学ロースクールで法学博士号を取得。現在は、香港WTO研究センター副長、中国国際経済貿易仲裁委員会仲裁員、香港中国企業調停員などを務めている。専門分野は国際経済法、商法、刑事司法など。著書・論文に「WTO反傾銷法—蘊於実践的理論」、「中国侵權法」、「Antitrust Law and Practice in China and Hong Kong」、「Understanding Chinese Company Law」など。

駱 偉健 WaiKin LOK
(マカオ大学 法学院 教授)



華東師範大学政治学部卒業。華東政法大学大学院修士課程修了。中国社会科学院大学院法律専攻で法学博士号を取得。1998年より中国国務院香港マカオ事務弁公室に勤め、香港マカオ特別行政区基本法起草委員会の業務に携わったと同時に、マカオ返還交渉の中泊合同チームの中国側代表及びマカオ特別行政区準備委員会委員を務めた。専門分野は、憲法及び香港・マカオ基本法など。著書・論文に「澳門特別行政区基本法概論」、「澳門法律新論」、「論『一国』与『兩制』的關係」、「論澳門法律制度中的司法審查」など。

林 玠鋒 ChiehFeng LIN
(輔仁大学 法律学院 助教授)



国立政治大学財政法律学部卒業、同大学院法律学専攻修士課程修了、法学博士号を取得。現在は台湾比較法研究会理事を務めている。専門分野は民事訴訟法、家事事件法。著書・論文に「宣告終止收養關係事件—從訴訟至非訟之演變」、「家事事件中未成年子女扶養權利之實現及程序法理之適用」、「家事財產法上之契約自由與弱者保護—以扶養子女契約之效力及法院之裁量為中心」など。

川嶋 隆憲 Takanori KAWASHIMA
(熊本大学 法学部 准教授)



慶應義塾大学法学部卒業。同大学院法学研究科修士課程、博士課程を経て、中央学院大学法学部専任講師に就任。2014年から現職。専門分野は民事手続法。研究テーマは、民事手続における紛争解決の終局性、民事手続における情報開示と秘密保護など。著書・論文に石川明＝三木浩一編「民事手続法の現代的機能」、「再訴事案の法的規律—英米法理論からの比較法的アプローチ」、「イギリスの without prejudice ルールについて」など。

葉 陵陵 Lingling YE
(熊本大学 大学院社会文化科学研究科 教授)



上海師範大学歴史学部卒業。華東政法大学大学院修士課程修了。中央学院大学法学研究科で博士（法学）号を取得。専門分野は比較行政法、中国法、アジア法。近年の研究テーマは、アジア諸国における裁判外紛争解決制度の比較研究など。著書・論文に「中国行政訴訟制度の特質」、「社会転換期の中国における多元的紛争解決システムの構築とADRの可能性」、「市民の裁判参加に関する比較的考察—アメリカ、日本及び中国を中心に—」など。